

中国の浙江越秀外国語学院と協定締結をしました

4月21日(木)、浙江越秀外国語学院(中国 浙江省 紹興市)と尚綱学院大学(宮城県名取市)の協定締結のため、浙江越秀外国語学院より学長の詹文都先生はじめ、5名の教職員の皆さまが宮城県を訪れました。協定締結式は江陽グランドホテルにおいて行われ、本学からは合田隆史学長、水田恵三副学長、黄梅英副学長など6名の教職員が参加しました。

本学の合田学長からは、「尚綱」という校名が中国の古典「中庸」に由来があり、中国との縁を大切にしていること、また、浙江越秀外国語学院の詹文都学長からは、浙江省紹興市出身の作家・魯迅の留学先が仙台市であり、とても身近に感じているということが話され、和やかな雰囲気の中で調印式が進みました。

翌日22日(金)は、浙江越秀外国語学院の皆さまが本学を訪れ、キャンパス内を見学し、本学とのこれからの交流について話し合いました。

浙江越秀外国語学院は、英語、日本語、韓国語、フランス語、ドイツ語、ロシア語、スペイン語、アラビア語、イタリア語など9種類の言語、約30の国際関連専攻が設置されており、浙江省において最も多くの語学を学ぶことができ、外国語人材育成規模も大きい大学です。

この度の協定締結により、交換留学事業や、学生・教職員の交流などが行われる予定です。

国際交流推進委員会



協定調印式の様子



本学での交流会の様子